

平成29年度喜多方市社会福祉協議会業務執行状況

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 地域福祉部門

1 法人の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

<理事会>

- 平成29年 5月25日 ○評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について  
○平成28年度事業報告について  
○平成28年度社会福祉事業会計収支決算について  
○評議員候補者(補欠)の推薦について  
○平成29年度第1回評議員会提出議案について  
○平成29年度第2回評議員会提出議案について  
※出席者 理事15名、監事2名
- 平成29年 6月 9日 ○会長、副会長及び常務理事の選定について  
※出席者 理事9名、監事2名
- 平成29年12月13日 ○平成29年度社会福祉事業会計収支補正予算<第1次>  
について  
○評議員会の開催について  
※出席者 理事11名、監事1名
- 平成30年 3月22日 ○就業規則の改正について  
○事務局規程の改正について  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の改正について  
○小口生活援助資金の不能欠損について  
○平成29年度社会福祉事業会計収支補正予算<第2次>  
について  
○平成30年度事業計画について  
○平成30年度社会福祉事業会計収支予算について  
○評議員候補者(補欠)の推薦について  
○評議員会の開催について  
※出席者 理事9名、監事1名

<評議員会>

- 平成29年 5月26日 ○理事の選任について  
○監事の選任について  
※出席者 評議員14名、会長、常務理事

- 平成29年 6月 9日 ○平成28年度事業報告について  
○平成28年度社会福祉事業会計収支決算について  
※出席者 評議員16名、会長、常務理事、監事1名
- 平成29年12月20日 ○平成29年度社会福祉事業会計収支補正予算<第1次>  
について  
※出席者 評議員16名、会長、常務理事、監事1名
- 平成30年 3月29日 ○小口生活援助資金の不能欠損について  
○平成29年度社会福祉事業会計収支補正予算<第2次>  
について  
○平成30年度事業計画について  
○平成30年度社会福祉事業会計収支予算について  
※出席者 評議員13名、会長、常務理事、監事1名

<評議員会書面開催による決議>

- 平成29年 6月30日 ○理事(補欠)の選任について

(2) 監事会の実施

- 平成29年 5月17日 ○平成28年度事業報告並びに社会福祉事業会計収支決算についての監査  
※出席者 監事2名、会長、常務理事
- 平成29年12月 5日 ○平成29年度上期事業報告並びに社会福祉事業会計収支決算についての監査  
※出席者 監事2名、会長、常務理事

※外部機関による会計指導(株あおぞら監査法人 青木会計)

平成29年 5月 2日 ○平成28年度決算に係る会計指導

平成29年11月24日 ○平成29年度上期決算に係る会計指導

※内部監査

第1回 5月11日、12日、15日

第2回 11月29日、30日、12月1日、4日

(3) 評議員選任・解任委員会

<評議員選任・解任委員会書面開催による決議>

- 平成29年 5月31日 ○評議員の選任について

(4) 苦情解決第三者委員会

平成29年12月15日 ○研修会への参加(福島県社会福祉協議会主催)

※出席者 委員3名

平成30年 3月12日 ○苦情受付状況の報告ほか

※出席者 委員3名、常務理事ほか

(5) 役員及び評議員候補者推薦委員会の開催

平成29年 5月 8日 ○理事・監事候補者の選考

※出席者 委員5名

平成30年 3月16日 ○評議員(補欠)候補者の選考

※出席者 委員5名

(6) 正副会長会議の開催

平成29年 5月19日 ○理事会・評議員会提出案件の確認

平成29年12月 8日 ○ //

平成30年 3月16日 ○ //

(7) 役員及び評議員研修会の開催

①福島県社会福祉大会への参加

開催日 平成29年11月10日(金)

会場 白河市文化交流館「コミネス」

参加者 会長、副会長、理事・評議員 計11名

②地域包括ケアシステム説明会

平成29年12月13日及び12月20日、役員・評議員に対して地域包括ケアシステムに係る説明会を実施した。

(8) 福祉活動支援金制度への理解と協力

自主財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を努めた。

○福祉活動支援金実績額：6,492,420円

(9) 賛助会員の拡充

8月を賛助会員加入強化月間と位置づけ、本会の活動に対する理解を頂くため、企業等を訪問した。

○新規賛助会員(企業・個人) 57件(金額：291,000円)

(10) 職員の資質向上

福島県社会福祉協議会や福島県福祉人材研修センター等の外部機関が主催する研修会等に職員を受講させるとともに、本・支所ごとに接遇研修、介護事業管理者会でのミニ研修などの内部研修を通じ、職員の知識の習得と資質の向上に努めた。

(11) 火災等災害見舞金交付事業の実施

- ・火災による死亡見舞金贈呈 1件（2名）
- ・火災による住居全焼 4件

(12) 介護職員養成・就労定着化事業の実施（市委託事業）

①介護職員初任者研修の実施

市内介護施設、事業所の介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として介護職員初任者研修を実施。

- ・昼コース 6月27日から8月30日まで 修了者 8名
- ・夜コース 7月20日から1月31日まで 修了者16名

②働きやすい職場環境づくり講習会の開催

介護職員の確保や就労定着が深刻な問題となっているなかで、雇用者側が雇用管理の基本を理解することにより、離職防止につながる魅力ある職場づくりと、従業員が目的をもっていきいきと働ける職場環境改善に繋がられるよう、講習会を開催した。

対象者 市内介護事業所、施設等の事業主や管理職員等

実施日 9月11日（月）、14日（木）、20日（水）

内容 ①雇用管理総論 ②人事管理 ③賃金管理 ④労働時間管理  
⑤安全衛生・健康管理 ⑥求人のポイント

参加者 全6コース 延40名

③福祉の職場体験事業

資格や経験がなかったり、資格があってもブランクがあり就職に自信がないという方等を対象に、介護の仕事を経験する場を提供し市内介護事業所の人材不足に寄与するため職場体験事業を行った。 体験者数：2名

④キャリアアップ研修支援事業

市が定めた要項に基づき、職員の就労定着を図ることを目的とし、職員の資格取得やスキルアップにかかる費用を負担した市内の介護事業所等にかかる経費を補助することにより介護職員就労定着を支援した。

- |            |           |    |
|------------|-----------|----|
| ○研修支援補助金交付 | 介護職員初任者研修 | 7名 |
|            | 介護職員実務者研修 | 8名 |

(13) 実習生の受け入れ

社会福祉援助技術の習得を目的とした実習生の受け入れを行った。

- 東北福祉大学 3名（24日間）

## 2 福祉のまちづくり事業

(1) 第13回社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが社会福祉に対する理解を深め、地域福祉活動がより一層充実されることを目的として、第13回喜多方市社会福祉大会を開催した。

日 時 平成29年11月22日(水) 午前9時30分  
 会 場 喜多方市総合福祉センター・多目的ホール  
 表 彰 社会福祉大会長表彰 2名  
 社会福祉大会長感謝 7名、1団体  
 福島県共同募金会長感謝 10名、11団体、20校  
 記念講演 「母に歌う子守唄」～介護すること・されること～  
 講 師 落合 恵子 氏(作家)  
 参加者数 420名

## (2) ふれあい社会福祉講座の開催

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

第1講 平成29年7月5日(水) 午後1時30分  
 テーマ 「腰痛予防について」  
 講 師 福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座  
 白 土 修 教授  
 第2講 平成29年7月12日(水) 午後1時30分  
 テーマ 「みんなで参加する助け合いの地域づくり」  
 講 師 公益財団法人さわやか福祉財団  
 新地域支援事業担当リーダー 岡野 貴代 氏  
 第3講 平成29年7月19日(水) 午後1時30分  
 テーマ 「うまい話にご用心！」～金融犯罪被害にあわないために～  
 「一緒に考えよう！日本のおさいふクイズ」  
 講 師 福島財務事務所 山 崎 由美子 氏  
 長谷場 直 氏  
 ○聴講者延べ 337名 修了者 50名

## (3) ふれあいきたかた社協まつりの開催

本会の事業について、市民が気軽に参加できるイベントをとおして一層の理解を深めることを目的に「ふれあいきたかた社協まつり」開催した。

開催日 平成29年9月9日(土)  
 会 場 喜多方市総合福祉センター  
 参加者 335名  
 内 容 ・パネルによる社協事業及び共同募金、福祉団体の取組み内容の紹介  
 ・福祉講話 語り部「瓜生岩子の一生」  
 ・福祉スタディ「盲導犬とのふれあい」  
 ・非常食体験コーナー及び福祉体験コーナー、介護用品の展示  
 ・脳トレ、認知機能バランス  
 ・キッズスペース、模擬店、福祉バザー

#### (4) 広報紙の発行とSNSによる情報発信

##### ①『きたかた社協だより』の発行

年4回(5月、8月、11月、2月)に『きたかた社協だより』を発行し、社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため市内全戸、県内社協、関係機関へ配布した。

##### ②ホームページ及びFacebookの活用

本会の事業内容を幅広い市民層に周知するため情報を発信した。

※ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp> (平成29年1月4日刷新)

※Facebookアドレスについては本会ホームページ参照

1) ホームページ	ユーザー数	9,108名	閲覧数	36,017件
2) Facebook	リーチ数	12,745件	リアクション数	883件

### 3 ボランティア事業

#### (1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

##### ①ボランティア協力指定事業の実施(市内全小・中学校24校指定)

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校の指定及び活動を積極的に推進した。

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校

○補助金交付額 50,000円(1校につき)

##### ②サマーショートボランティアスクールの実施

夏休みを利用したボランティア体験の場として、サマーショートボランティアスクールを実施した。

喜多方地区	高校生	3名	中学生	14名
熱塩加納地区	中学生	12名	小学生	3名
塩川地区	中学生	5名	小学生	2名
山都地区	中学生	5名		

#### (2) 傾聴ボランティア事業

##### ①傾聴ボランティア養成講座

市内施設等からの傾聴活動のニーズに対応するため、新たなボランティア活動者の発掘・養成を目的に傾聴ボランティア養成講座を開催した。

開催日 第1講 8月21日(21名参加)

第2講 8月28日(20名参加)

第3講 9月5日(18名参加)

講師 会津大学短期大学部講師 木村淳也氏

修了者 13名(全3講受講者)

#### ②傾聴ボランティアコーディネート

市内の福祉施設(特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホーム)を活動の場として、傾聴ボランティアのコーディネートを行った。

傾聴ボランティア登録者数 20名

ボランティア活動提供施設数 10施設

傾聴ボランティア活動回数(延べ) 2,529件(244日間)

#### (3) 除雪ボランティア事業の実施

除雪作業を支援することにより、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減し、地域における支え合い及び福祉の向上を図るため、除雪ボランティア事業を実施した。

地区名	実施日	対象件数	参加者数
喜多方	1月27日(土)	14件	46名
熱塩加納	2月3日(土)	24件	129名
塩川	1月20日(土)	8件	86名
山都	2月10日(土)	5件	101名
高郷	2月17日(土)	7件	77名
合計		58件	439名

#### (4) 朗読・点訳ボランティアの育成支援

##### ①視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

市内在住の視覚障がい者の方を対象に、朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、市広報紙「広報きたかた」をカセットテープに録音し送付した。

利用登録者数 9名

ボランティア登録数 10名

送付回数 12回

##### ②点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数7名

#### (5) 福祉レクリエーションボランティア養成事業

福祉レクリエーションに関する知識と技術を習得し、高齢者サロン等の地域におけるボランティア活動に供する方々を養成するため実施した。

養成講座 3講座実施(10月4日、10月11日、10月18日)

修了者 20名

ボランティア登録者 7名

(6) 子育て支援ボランティア養成事業

子育てボランティアとして活動するために必要な知識と技術、子どもとの接し方を習得し地域貢献活動に積極的に取り組むボランティアを養成するため、子育て支援ボランティア養成事業を実施した。

養成講座 3講座実施(12月6日、12月12日、12月19日)

修了者 10名

ボランティア登録者 3名

(7) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて vol. 13』の発行

市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 13』を発行した。

(8) 地域のボランティア育成事業

喜多方市ボランティア連絡協議会やふれあい福祉協議会をはじめとする福祉団体と協働して、ボランティア活動への理解を深めるとともに地域福祉の推進を図った。

<ボランティアの参加、体験事業>

- ・きたかた社協まつり
- ・集合型サロン事業(あづまっぺサロン)
- ・赤い羽根共同募金街頭募金

(9) 資源回収の取組み

①エコキャップ運動

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための支援を行った。

業者へ納入したエコキャップ 1, 599キロ(ポリオワクチン換算 799人分)

②入れ歯リサイクル

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通じて世界の子どもたちのために役立てる活動に協力した。

精製貴金属量 12.7g(19,334円)

## 4 地域福祉事業

(1) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において「心配ごと相談所」を開設した。



<相談内容別内訳>

○生活費に関すること	26件	○年金に関すること	0件
○家族関係に関すること	9件	○就労に関すること	2件
○医療に関すること	0件	○生活全般に関すること	10件
○その他	115件		計162件

(2) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築く交流事業等に対して交付金を交付し活動の支援を図った。

ミニサロン等事業	11箇所
交流事業	5箇所
交付額計	162,000円

(3) 「ふれあいきいきサロン」の開設(35箇所)

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいきいきサロン」の開設と運営を支援した。

サロ ン 名	地区名	サロ ン 名	地区名
松が丘いきいきサロン	喜多方	村松三区さゆり会	喜多方
桜が丘いきいきサロン	喜多方	関柴地区いきいきサロン	喜多方
清水台いきいきサロン	喜多方	ひばりが丘いきいきサロン	喜多方
東四ッ谷いきいきサロン	喜多方	渋井いきいきサロン高德会	喜多方
上三宮二区いきいきサロン	喜多方	花園いきいきサロン	喜多方
寺町いきいきサロン	喜多方	桜町ふれあいサロン	喜多方
譲屋いきいきサロン	喜多方	幸町いきいきサロン	喜多方
菅原町ニューサロン	喜多方	○栄町いきいきサロン	喜多方
針生ひだまりサロン	熱塩加納	野辺沢いきいきサロンたんぽぽ	熱塩加納
新崎いきいきサロンお達者クラブ	熱塩加納	半在家いきいきサロン	熱塩加納
柴城地区いきいきサロン	塩川	上窪地区いきいきサロン	塩川
別府地区いきいきサロン	塩川	塩川地区いきいきサロン	塩川
広野いきいきサロン	山都	河原田いきいきサロン	山都
ふなひきいきいきサロン	山都	藤沢いきいきサロン	山都
千咲原いきいきサロン	山都	小布瀬原いきいきサロン	山都
館原いきいきサロン	山都	木曾いきいきサロン	山都
松ヶ丘いきいきサロン	山都	○寺内いきいきサロン	山都
西黄地区いきいきサロン	高郷		

(○は、平成29年度に新規開設)

○ふれあいいいきサロン世話人連絡会の開催

日 時 平成30年3月8日  
内 容 サロン活動推進に係る情報提供等

(4) 日常生活自立支援事業

福島県社会福祉協議会からの委託により、日常生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が地域において安心して暮らしていくため、支援を行う喜多方市各地区担当の生活支援員8名を選任して金銭管理等の援助を行い、日々の生活における自立に向けた支援活動を展開した。

年度末契約件数 5件

(5) 生活福祉資金の貸付

福島県社会福祉協議会の貸付資金である生活福祉資金貸付事業の市町村窓口として、申請受付の手続きと必要な援助を行った。

平成29年度貸付件数 12件(7,301,000円)

(6) 小口生活援助資金の貸付

本協議会の独自事業として、低所得者の緊急的な経済的問題を解決し安定した生活が送れるよう資金の貸付けを行った。

平成29年度貸付件数 52件(2,341,000円)

(7) おもちゃ図書館の運営

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供した。

本 所	年間利用人員延	4,132名	開館日数	101日
熱塩加納支所	年間利用人員延	119名	開館日数	12日
塩川支所	年間利用人員延	842名	開館日数	41日
山都支所	年間利用人員延	161名	開館日数	12日
高郷支所	年間利用人員延	18名	開館日数	12日
計	年間利用人員延	5,272名	開館日数	178日

(8) 子育て支援事業の開催

・たのしい人形劇	平成29年	5月23日	29名参加
・ベビーマッサージ	平成29年	6月27日	52名参加
・ママと子どもの交通安全教室	平成29年	9月26日	44名参加
・もこもこキッズ運動会	平成29年	11月28日	53名参加
・たのしい人形劇	平成30年	1月23日	31名参加
	計		209名参加

(9) 在宅介護教室の開催

市民を対象に、正しい在宅介護の知識と技術の習得と、社会福祉協議会のサービス事業所のPRにつなげることを目的とし在宅介護教室を開催した。

日 時 平成30年2月23日(木) 午後1時30分～  
会 場 喜多方市総合福祉センター・会議室  
参加者 14名  
内 容 I 在宅生活を支えるホームヘルパーの仕事  
II 介護にまつわるお金の話

(10) 福祉バスの運行

福祉団体の研修や高齢者等の事業での活用を通じ、市民の福祉向上に寄与するため福祉バスを運行した。

運行日数 延 194日(運行台数3台)

(11) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加、更には、ふれあい作品展や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生産品の販売と、会員募集、事業活動のPRに努めた。

平成29年度会員登録者数 150名 (※平成28年度 155名)

各グループ年間延活動人員及び延活動日数 7,000名 / 760日

<内訳>

項目	グループ等名	登録人数	年間延活動人員	延活動日数
グループ活動	手芸グループ	28名	1,028名	81日
	陶芸グループ	46名	2,843名	187日
	菌茸グループ	15名	242名	45日
	園芸グループ	7名	372名	107日
	織物グループ	31名	1,170名	89日
	押し花絵グループ	13名	471名	58日
	わら工芸グループ	10名	529名	106日
	グループ活動計	150名	6,655名	673日
その他の活動	パソコンクラブ	—	124名	24日
	土根壤耕遊塊	—	221名	63日
	その他の活動計	—	345名	87日

平成29年度 新規出店イベント

桜ウオーク、市民活動フェスティバル、山都新そばまつり、社協まつり

(12) 高齢者生きがい対策事業の実施

①陶芸教室の開催

高齢者のいきがづくりの一環として塩川地区と山都地区において陶芸教室を開催している。

塩川地区	会員数	39名	(延 724名)	活動日数	104日
	会員研修の実施	(2回)	延30名参加		
山都地区	会員数	12名	(延 115名)	活動日数	23日
	会員研修の実施		10名参加		

②高齢者支援事業

○サロン体験事業 あつまっペサロン (喜多方地区)	31名参加
○元気教室バス旅行 (熱塩加納地区)	11名参加
○閉じこもり予防事業<小旅行> (塩川地区)	8名参加
○閉じこもり予防事業<集合昼食会> (山都地区)	23名参加
○閉じこもり予防事業<ぶどう狩> (山都地区)	26名参加
○閉じこもり予防事業<観劇ほか> (山都地区)	21名参加
○閉じこもり予防事業<集合昼食会> (高郷地区)	14名参加
○買い物支援事業<2回実施> (高郷支所)	延13名参加

(13) 児童館等運営事業への協力

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館等運営事業に、児童厚生員を配置しその運営に協力した。

(平成30年3月現在)

児童館等名	登録児童(幼児・学童)数	年間受入人数 (延べ)
中央児童館	64	11,053
上三宮児童館	20	4,476
岩月児童館	36	8,036
関柴児童館	48	10,422
熊倉児童館	34	7,174
慶徳児童クラブ館	26	5,190
豊川児童館	57	11,445
喜多方児童クラブ館	110	25,007

松山児童クラブ館	69	15,630
しきみ児童クラブ館	60	13,627
計	524	112,060

(※喜多方地区内の児童館等について市より一部受託)

(14) 支部社協事業の活動支援

①支部社協活動への支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

②ふれあいネットワーク事業（支部社協事業）

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネットワーク事業」を実施した。

ネットワーク 活動延べ件数	3,738件	慶徳地区 2,898件 松山地区 840件
------------------	--------	--------------------------

③支部社協代表者会議の開催

7支部社協の代表者による情報交換を行い、活動の充実を図る目的により代表者会議を開催した。

(15) 福祉団体の育成支援

市内福祉団体（連合組織・地区組織）の事務局として、各団体組織が行う福祉事業・活動の運営支援を行った。

- |                |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| 1) 民生児童委員連合会   | 2) 老人クラブ連合会 | 3) 赤十字奉仕団   |
| 4) 身体障がい者福祉会   | 5) 手をつなぐ親の会 | 6) 福島いのちの電話 |
| 7) 瓜生岩子刀自顕彰会   | 8) 更生保護協議会  | 9) 遺族会連絡協議会 |
| 10) その他の福祉関係団体 |             |             |

(16) 家族介護者交流事業の実施（市委託事業）

介護をされている方々を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を図ることを目的に家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

○日帰りリフレッシュ事業（平成29年7月13日）

参加者 13名 行き先 いわき市方面

○一泊リフレッシュ事業（平成29年10月11日・12日）

参加者 20名 行き先 新潟県瀬波温泉、寺泊方面

#### (17) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、無料貸出を行った。

貸出件数 46件

### 5 東日本大震災復興への対応

会津保健福祉事務所が主催する喜多方市に避難されている方を対象とした、「そうそう絆サロン 健康相談・交流会」に参加するとともに、福祉バスの運行に協力した。

### 6 日本赤十字社福島県支部喜多方市地区業務

人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力を行った。

社資実績額 8,781,185円

達成率 121.1%（優良地区として表彰）

### 7 福島県共同募金会喜多方市共同募金委員会業務

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8,309,535円

歳末たすけあい募金実績 4,292,769円

#### ・街頭募金の実施

共同募金運動に対する理解を深めるため、地区ごとに街頭募金を実施した。

喜多方地区 7ヶ所 塩川地区 1ヶ所 高郷地区 1ヶ所

<募金ボランティア協力者> 小学生10名、中学生20名、高校生 7名、

一般14名 計 51名

募金実績額 174,400円

### 8 福祉施設の管理運営（指定管理事業）

#### (1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター 利用人員 11,826名（開館日数 208日）

多目的ホール 利用者数 10,932名（利用回数 296回）

2階会議室 利用者数 2,263名（利用回数 108回）

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットを設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設（温泉入場者）営業日数 310日 延利用者数 66,575名  
運動施設（ゲートボール場）利用日数 144日 延利用者数 2,288名

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

地区内で開催されたイベントでパンフレットを配布するとともに、敬老の日やクリスマスイベントで菓子等を配布するなど、日頃の感謝を表し誘客につながるようPRに努めた。

保養施設（温泉入場者）営業日数 276日 延利用者数 19,160名  
巡回福祉バス運行 延日数 87日（延1,482名利用）

(4) 生活支援ハウス事業

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

- 山都生活支援ハウス10部屋 1名入居（3月末現在）
- 高郷生活支援ハウス 7部屋 2名入居（3月末現在）

9 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立相談支援事業）

(1) 生活困窮者に対する包括的相談支援事業

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援制度に基づき、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談支援を行い、また、平成29年4月より滞納・返済等で家計に支障が生じている個々の世帯に応じた相談支援を行う家計相談支援事業をスタートした。

<生活困窮者に対する包括的相談支援事業>

新規相談人数	57名
支援プラン策定件数	28件（支援調整会議で決定） ※うち家計再生プラン重複立案 17件
就労者件数（延）	25件
支援実施延回数 （前年度からの継続支援者数含む）	1,794回 （面接相談、電話相談、訪問相談、同行支援、支援調整会議、他機関への照会等）

なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応をした。

(2) 関係機関とのネットワークの構築と社会資源の開発

各地区民生児童委員協議会定例会、市民生児童委員連合会総会、自立支援協議会などへ出席し、制度説明や相談状況報告等、支援内容の周知を行い顔の見える関係づくりに努めた。

(3) 支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。

平成29年度開催 12回

(4) フードバンク事業

平成27年10月23日にコープ東北サンネット事業連合とコープフードバンク協定を締結し、生活困窮者に対しフードバンクから提供を受けた食料品の提供を行った。

平成29年度提供実績 49世帯(延76回)

(5) 「きたかた子ども食堂」への支援と連携

「きたかた子ども食堂」と情報の共有を図り、幼児・児童等を抱える生活困窮者世帯への支援につなげるためフードバンクを通じて食料品の提供を行うとともに、親子遠足等の事業に協力し食堂運営との連携を図った。

平成29年度提供実績 延9回提供

(6) 広報・周知について

生活サポートセンターの周知に関し、関係機関をとおして市民ヘリーフレット配布を行うとともに、市の広報2回、社協広報で4回の掲載を行うほか、FMきたかた「茶の間のふくし」番組出演にてPRを図った。

## II 在宅福祉部門

1 介護保険事業

2 障害者総合支援事業

.....別紙資料参照

3 いきいき在宅介護サービス事業

## III 地域包括支援センター部門

1 地域包括支援センター事業

高齢者が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組み、包括的支援事業を積極的に推進した。また、認知症高齢者の増加に伴い喜多方市高齢福祉課と連携



を図り、総合相談として利用者・家族の要望に応じた体制作りを図った。

事業、会議、研修会名		開催回数		
① 地域包括支援センター連絡会		12 回		
② 地域包括支援センター運営協議会、介護保険運営協議会		1 回		
③ 介護保険事業関連事業者連絡協議会 (8 部会)		52 回		
④ グループホーム運営推進会議		51 回		
⑤ 地域密着型特定施設運営推進会議		63 回		
⑥ 各地区民生児童委員協議会定例会		152 回		
⑦ 権利擁護担当者会議、地域ケア会議等		50 回		
⑧ 専門職員研修会、会議等への参加		55 回		
⑨ 介護相談員定例会		10 回		
⑩ 介護予防事業 (介護予防教室)、介護者教室等		45 回		
⑪ 講師派遣、他団体への協力等		26 回		
⑫ 街かど相談室、ケアマネ相談室、延長相談		43 回		
⑬ 老人ホーム入所判定会への出席		2 回		
		計 562 回		
相談・援助内容	相談件数 (延べ)	相談人数 (延べ)	ランチ相談 件数(延べ)	相談件数 合計
① 介護予防支援事業に関すること	7,098 件	2,194 人	0 件	7,098 件
② 総合相談支援に関すること	2,396 件	883 人	189 件	2,585 件
③ 権利擁護事業に関すること	135 件	29 人	1 件	136 件
④ 包括的継続的支援に関すること	31 件	8 人	0 件	31 件
⑤ 実態調査	38 件	32 人	24 件	62 件
⑥ 苦情に関すること	3 件	2 人	2 件	5 件
合計	9,701 件	3,148 人	216 件	9,917 件

#### ①介護予防支援計画

自立した日常生活を継続できるよう支援するため、介護予防のための健康増進を図り、また、介護が必要となった際の身体能力の維持・向上のため介護予防支援計画を作成。

計画件数 5,308件 (うち委託件数) 1,276件)

#### ②相談窓口時間延長の実施

相談者の利便性を図り、相談支援体制の充実を図るため、喜多方市総合福祉センターで月2回の相談窓口の延長を実施した。

○相談窓口の延長開設 毎月第2・4水曜日 (午後5時15分～午後7時30分)

○相談件数 4 件 (来所3件、電話1件)